

## 第20回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成25年8月21日(水) 19時～21時

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

### 3 出席者

- (1) 委 員 16人 \*欠席 6人 來住委員、笹川委員、大澤委員、児玉委員、  
奥田委員(代理出席:松本氏)、  
中村委員(代理出席:諸橋氏)
- (2) 事務局 5人 \*教育委員会企画課 大崎課長、池田統括管理主事、小口主査、  
安井主査補、望月主査補
- (3) 傍聴者 4人

### 4 報告・議題

- (1) 【報 告】 前回協議会およびそれ以降の動きについて
- (2) 【議題1】 千城台地区小学校の適正配置について
- (3) 【議題2】 次回開催日時・場所について
- (4) 【議題3】 その他

### 5 会議資料

資料1: 第14～19回千城台地区学校適正配置地元代表協議会(概要)

資料2: 協議の進め方

参考資料1: 協議の論点整理表

参考資料2: シミュレーションA(2番)・B(5番)の比較

参考資料3: 小学校の統合・現行学区での統合シミュレーション(現行の学級編制)

参考資料4: 中学校の生徒数推計・統合シミュレーション

参考資料5: 千城台地区小・中学校の施設概要

### 6 議事の概要

- (1) 【報 告】 前回協議会およびそれ以降の動きについて  
事務局が前回協議会での協議内容について説明した後、それ以降の各学校や自治会等で行われた話し合いや活動について協議会委員から報告を行った。
- (2) 【議題1】 千城台地区小学校の適正配置について  
事務局が、参考資料1「協議の論点整理表」を中心に説明を行った後、協議を行った。  
その結果、今回は中学校の統合協議を先に行うこととし、それを踏まえて小学校の統合協議を行うことが確認された。
- (3) 【議題2】 次回開催日時・場所について  
次回協議会は、平成25年10月18日(金)18時30分から20時30分、場所は千城台公民館にて開催することとした。
- (4) 【議題3】 その他  
特に協議事項なし

## 7 発言要旨

### (1) 会長挨拶（氏家会長）

4月には「協議会だより第4号」を第24地区連の全家庭（8400世帯）に配布している。幼稚園や保育所等にも配布し、未就学児をもつ保護者にも周知している。地域住民全体が、統合シミュレーションのA案とB案のどちらを選択するのか、協議会の動向を見ている。

今回は、A案とB案のメリット・デメリットを整理した「協議の論点整理表」を事務局に作成してもらい、各委員にも前もって送付し確認していただいている。本日は、実行性を踏まえて、総合的に判断して決めていただきたい。

### (2) 報告

#### 報告 前回協議会およびそれ以降の動きについて

〈山崎議長〉 「前回協議会およびそれ以降の動き」について、事務局から報告をお願いします。

〈事務局〉 「前回の協議」については、資料1・2をご覧ください。既に議事要旨が確定されているので、簡単に説明する。

（前回協議された概要）

○事務局が「平成27年4月に小学校統合を想定した場合の教職員の構成」「小学校統合（シミュレーションAに想定）に係る中学校の通学区について」を中心に説明を行った後、協議を行った。

○協議の結果、次回も引き続き、27年4月の統合を目指して小学校の統合協議を行うことが確認された。

〈山崎議長〉 ただ今の報告について、質問があるか。

〈一同〉 特になし

〈山崎議長〉 次に、前回の協議会以降、各団体で話し合いをしてきている団体があれば、ご報告をお願いしたい。

〈氏家会長〉 第24地区町内自治会連絡協議会では、7月28日（日）に定例の会長会議を行い、前回協議会で報告した自治会アンケートの結果について報告し、意見を聞いてみた。いろいろな面から考えて、やはりA案ということである。大所高所から見て判断して決めていただきたいとあった。

### (3) 協議

#### 議題（1）千城台地区小学校の適正配置について

〈山崎議長〉 まず、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 参考資料1「協議の論点整理表」を中心に説明する。

- ・前回の協議を受けて、氏家会長から協議を効率よく進めるために、「協議の論点整理表」の依頼を受け、作成したものである。

- ・主に第18回・第19回の協議会で出された意見を整理したものである。

- ・協議会委員にも、加除修正の依頼をしたが、特に修正等の意見がなかったので、確認していただいた資料と同じものである。

※参考資料2～5については、前回と同様の資料である。

〈山崎議長〉 事務局の説明を踏まえて、協議に入る。意見がある方はお願いします。

- 〈大和久委員〉 参考資料1「協議の論点整理表」の中に掲載されている2か所の内容について、意見がある。1点目は、B案のデメリットの②に「教室不足が解消するまでは、ランチルームや多目的室、少人数学習室などの余裕教室は今のようにとれない校舎に児童が移ることになり、学校規模は大きくなるが、子どもたちにとってより良い教育環境になるとはいえない可能性がある。」と書かれているが、私は疑問である。自分が小学校に通っていた時には、ランチルーム等の余裕教室はなかったが、より良い教育環境でなかったかとは思っていない。
- 2点目は、その他の項目の②「小中連携、周辺高校や大学との連携、良い先生の招致などの実現について」に書かれている内容については、学校統合後に協議をして決めていくべき検討事項となっているが、おざなりになるのではないかと懸念している。
- 〈鶴岡委員〉 以前から複数学級になるのがよいとは述べているが、改めて論点整理表を踏まえて考えた場合、A案で進めていくべきだと考える。
- 〈多田委員〉 今まで19回もの検討を重ねてきている。自治会としては、いろいろな面から考えてA案とした。B案も、良い点がたくさんあるが、市の財政的な方針等も考慮した場合、やむを得ずA案となる。ベストな方法はない。ベターな方法を選択するしかない。
- 〈谷野委員〉 自治会としては、A案をずっと推してきている。小学生には、せめて通学距離が短いA案が良いと考えた。
- 〈綿貫委員〉 個人的には、B案に賛成であるが、自治会としては、様々なことを考えてA案となった。意見の多い方を決定とすることが、民主的な方法かと考える。
- 〈諸橋氏〉 自治会としては、学校と地域とのつながりや防災拠点等の条件を考えた場合、A案となった。議論をし尽くしてきており、新しい考えは出ないと思う。
- 〈栗山委員〉 統合しても、防災拠点等の地域とのつながりはできると思う。
- 〈諸橋氏〉 施設としての条件が大きい。
- 〈栗山委員〉 学校関係は、B案を推しており、1学級の人数や学級数を増やしたいという考えからである。A案とするならば、自治会の方に学校に説明にきて説得していただきたい。A案の場合、2学級程度となるが心配である。
- 〈諸橋氏〉 逆に自治会を説得させることも同様であり、お互いさまである。
- 〈栗山委員〉 A案の良いところが見えない。良い点を説明してほしい。
- 〈諸橋氏〉 協議会は、各団体の代表者が集まっている。説明に行く必要があるのか。
- 〈佐々木委員〉 防災拠点については、学校施設ではなくてもできる。跡施設が公共施設であれば可能である。
- 〈諸橋氏〉 防災施設までの距離が関わっている。
- 〈佐々木委員〉 仮に北小が学校施設でなくなった場合、跡施設の要望として出せばよいのではないかと。また、A案となった場合でも、北小が跡施設となる可能性も考えられる。
- 〈鈴木委員〉 「子どもたちにとってどうなんだろう」という視点が大切である。協議会として、27年4月の統合の方向性が決まっているのだから、それに向けてまとまってほしい。もう一度、協議会委員一人一人が視点について認識すべきでないか。
- 〈山崎議長〉 中学校の統合については、前回協議会で、各中学校の意見として、どちらも統合に反対であるという報告がされていることも考える必要がある。
- 〈佐々木委員〉 美浜区の統合に関して、先日、幸町地区の協議会の役員から話を聞く機会があった。幸町協議会では、避難場所の議論が出た時、避難場所のことよりも、子どもを第一として考えていくことが確認され、進めたということである。また、小学校の統合では、特別支援学級については統合校ではなく他校への設置となったと聞いている。

〈事務局〉 統合する幸町第二小のことばの教室・きこえの教室については、通級の形式をとっており、他の地域から通ってくる児童がほとんどである。

※補足説明

「きこえの教室」においては、市内でも幸町二小、院内小、誉田東小の3校だけに設置されており、幸町二小の通学区域も美浜区、稲毛区、花見川区と広範囲に及んでいる。そのため、特に児童や保護者の通級の負担を配慮し、市内にバランスよく配置していく必要性から、他校へ設置の検討を行っている。

- 〈佐々木委員〉 北小の特別支援学級も、地元より他地域の方が多く通学している。統合校でなく違う学校に設置すればよい。
- 〈綿貫委員〉 私の関わった学校も統合しており、統合校の情報は多く聞いている。自治会としての代表の立場なので、ここでは述べない。
- 〈栗山委員〉 何とかB案で考えられないか。
- 〈諸橋氏〉 それぞれに付加価値がある。
- 〈綿貫委員〉 B案の良さも説明したが、自治会としてはA案となった。
- 〈栗山委員〉 「子どもたちにとって、どちらが良いのか」と考えた場合、B案となる。
- 〈多田委員〉 自治会の実態として、子どもと同居している人は少ない。班長会等で、報告してきたが、関心がないのが実状である。今よりも一歩前進しようということは、みんなわかっている。小学校については、たまたま防災拠点や地域開放等で使用しているという考えであり、統合することは賛成である。差し当たっては、A案と考えている。
- 〈佐々木委員〉 東小では、全校400人程度であるが、今でもPTA役員の人数が足りず、支障をきたしている現状である。3校統合が必要である。
- 〈多田委員〉 今回はA案で行き、いずれは再度、統合を考えていく方向でどうか。
- 〈佐々木委員〉 最初からB案でいきたい。
- 〈鈴木委員〉 いろいろな意見が出されているが、このままだとかみ合い合わない。
- 〈佐々木委員〉 どうしたらかみ合うのか。
- 〈鈴木委員〉 学校側から意見を出してもらい、自治会側は黙って認めていくしかないのではないか。
- 〈栗山委員〉 学校側から自治会に説明に行かせていただきたい。
- 〈石原委員〉 みんな、限りなくB案にしたいとは思っているが、いろいろなことを考え、まずはA案でどうかとなった。
- 〈栗山委員〉 A案であれば、統合はやめてもよい。
- 〈石原委員〉 跡施設や小中連携等いろいろな議題が出ているが、そちらの方が大切ではないか。
- 〈鶴岡委員〉 B案については、教室不足を解決できないと進まない。
- 〈栗山委員〉 A案になった場合、説得する材料がない。とりあえずA案では説得できない。また北小の特別支援学級の問題もある。
- 〈植田委員〉 個人的には、子どもが不登校気味になった経験から、担任や児童が変わるクラス替えができる規模が良いと考える。A案だと2学級程度であり、少ないかなと思う。特別支援学級については、子どものことは心配であると思うが、先生や地域の方々に十分フォローしていただければと個人的には思う。あくまでも今述べたことは個人的な考えであり、北小としてはA案であることは、以前に報告したとおりである。
- 〈佐々木委員〉 坂月小や更科小は、教室も余っているのだから、特別支援学級も設置していけばよい。
- 〈植田委員〉 北小の特別支援学級は、児童の数が多いため、先生方も多く配置され、環境も良い。そのため集まってきている。各地域に設置されれば、解消していくとも考える。

- 〈山崎委員〉 この会議自体がおかしいのではないかと。20回も話し合ってきたが、まとまらない。第一に子どものことを考えて、跡施設等についてはその後と考えるべきである。この顔ぶれでは、ずっとこのまま続くと思う。
- 〈綿貫委員〉 私もそう思う。
- 〈山崎委員〉 自治会の方々は、この地域にずっと住んできており、地域のことを考え、優先するのは当然である。自治会側が学校に説明に行っても受け入れられないと思う。考え方が全く違う。
- 〈石原委員〉 お互いが歩み寄るために、この協議会を行っていると考えてる。
- 〈山崎委員〉 そのとおりであるが、私もPTA会長を小・中学校とおして、7・8年やってきた。南小の時は、児童数が少なく、保護者役員になってもらうのもポイント制を導入するなど、苦慮した覚えがある。
- 〈綿貫委員〉 提案だが、協議会委員の中に学識経験者を入れるのも良いと思う。年度替わりに検討してみてもどうか。また、この協議会で要望した後に、教育委員会会議で最終的に決定となるので、すべてが受け入れられるとは限らない。
- 〈山崎委員〉 この協議会で最終決定ではないのか。
- 〈事務局〉 協議会として統合について合意し要望書を教育長に提出していただき、それを踏まえて最終的に教育委員会会議に諮ることになる。
- 〈土屋委員〉 人口が流動的であるので、一度統合を行った時に、いろいろな動きが見えてくると考える。そういう意味で、まずはA案とした。B案については、教室不足が解決しないと進まない。市営住宅の立て直し計画等も考えると、やるのであればA案、あるいは統合しないかのどちらかと考える。
- 〈佐々木委員〉 A案で5校を3校とした場合、学校の保護者役員に自治会も入っていただけるか。
- 〈土屋委員〉 逆に、自治会役員にも進んで入っていただきたい。
- 〈谷野委員〉 以前から思っていたが、セーフティウォッチャーは保護者もやるべきではないか。
- 〈佐々木委員〉 保護者のほとんどが働いており、実際にやるのは厳しい状況である。
- 〈多田委員〉 自治会側は、子どもを教えるための資格等がない。
- 〈佐々木委員〉 お子さんを育ててきた経験を生かしていただければよい。
- 〈多田委員〉 子どもたちの見守りしかできない。
- 〈佐々木委員〉 話は変わるが、例えば小学校3校、中学校1校としてもよいと考えるか。
- 〈多田委員〉 あり得ると思う。
- 〈佐々木委員〉 歩み寄りをするには、どちらかが妥協しなければならない。
- 〈山崎議長〉 本日は中学校の代表が出席していないので、中学校の統合については決められない。
- 〈酒井委員〉 原点は「子どもたちに何をしたら、より良い教育環境になるのか」ということで始まった。大局的に見て進めていきたい。個人的にはB案である。
- 〈大和久委員〉 自治会の方々に聞きたい。先ほどからの意見を踏まえて、再度どう考えているか。また、協議会として、このままA案とB案の両方を要望として提出した場合、教育委員会で決めていただけるのか。
- 〈事務局〉 基本的には、協議会で合意形成して要望を提出していただき、それをベースにして教育委員会会議に諮ることになる。
- 〈大和久委員〉 A案とB案の両方を要望とした場合、決められるのか。
- 〈事務局〉 それは考えていない。先行地区でも、十分に時間をかけて議論していただき、合意形成をして進めてきている。

- 〈谷野委員〉 公営住宅等では、5年計画で売却するという話も聞いている。余裕をもって進めてほしいということである。
- 〈大和久委員〉 A案で変わらないということか。
- 〈谷野委員〉 そうである。
- 〈大和久委員〉 失礼な質問をしたが、まとまるための1つの方法として再度確認させていただいたので、ご理解いただきたい。
- 〈山崎委員〉 子どもたちのことを第一に考えていくしかない。
- 〈大和久委員〉 このままだと平行線をたどるだけである。
- 〈山崎委員〉 セーフティウォッチャーはとても大切であり、地域とのかかわりは続けてほしい。
- 〈多田委員〉 個人的には理解できるが、自治会は大勢の意見を背負っていることをご理解いただきたい。小学校低学年は、通学距離は短いほうがよい。
- 〈佐々木委員〉 小学校の通学距離は、法令上4km以内となっている。千城台地区では、最長でも2.8kmである。  
※B案で北小・西小・南小の統合場所が南小となった場合は、北小区から3.6km
- 〈栗山委員〉 通学距離が遠くなっても、子どもたちにとって大切なことを説明できる。
- 〈綿貫委員〉 アンケートをとったらどうか。
- 〈佐々木委員〉 アンケートは、質問内容によって、誘導できてしまうと思う。
- 〈山崎委員〉 やはり子どもたちのことを第一に考えていくしかない。学校に、自治会関係者が説明に行っても理解できないと思う。
- 〈栗山委員〉 学校では、A案とB案が半々の割合であり、説明次第で変わると思う。
- 〈土屋委員〉 そういう意味では、自治会関係者が、学校に説明に行ってもよいのではないか。
- 〈山崎委員〉 しかし、協議会としても、そろそろ決を採らないといけない時期ではないか。
- 〈山崎議長〉 本日は、中学校の協議会委員が出席していないので、決定できない。
- 〈氏家会長〉 合意の仕方を確認したい。協議会委員の方々は、どんな姿を考えているのか。やはり全員が「これでいこう」と納得した形が合意の姿ではないか。子どもたちの将来を考えて議論していくべきであり、慎重に進めたい。
- 〈事務局〉 非常に重要なことであるので、先行地区でも多数決ではなく、合意して進めてきている。
- 〈氏家会長〉 第11回協議会において、小学校の統合が必要であると確認されてから、具体的な事項について協議してきた。千城台地区の多くの小学校において、小規模校化が進んでいる中で出された結論である。A案では統合する意味がないという意見があったが、単学級が進んでいる現状において、その大部分が複数学級になるのであるから、意味がないということはない。  
また、学区変更についても、御成台については難しいということになり、統合シミュレーションにおいて、2つに絞られた。常に「子どもたちの教育環境を良くすること」は、ずっと変わらないで進めてきている。  
そこで、中学校の統合協議を先に検討した方がよいのではないかと考える。小学校の統合については必要であることは確認しているので、後戻りせずに進みたい。今後の議論進行の提案としたいが、いかがか。
- 〈山崎議長〉 本日の協議について、各団体で持ち帰って、次回検討することとしてよいか。
- 〈多田委員〉 現時点では、中学校側は統合反対となっているが、それは考えないでよいのか。
- 〈山崎議長〉 A案かB案かを決めるというよりも、中学校の統合をどうするのかを話し合っていたきたい。

- 〈多田委員〉 中学校が反対している状況の中、話が進むのか。
- 〈栗山委員〉 現在、中学校に在籍している生徒は、統合には直接関係がない。小学校の方が関わりがあると思う。
- 〈氏家会長〉 次回協議会の中で、中学校が反対している真意について、再度、詳しく聞いて進めていきたい。
- 〈石原委員〉 なぜ小学校側は中学校を統合したいのか、逆に中学校側は統合したくないのか疑問であるので、次回確認したい。
- 〈事務局〉 協議をまとめたい。今後は、決を採らずにお互いが歩み寄り合意していく方向とし、今回は、中学校の統合について協議をすることとしてよろしいか。
- 〈一同〉 異議なし（了承）

## 議題（２）次回の開催日時と場所について

- 〈山崎議長〉 協議（２）「次回開催日時・場所」に入る。事務局から説明をお願いする。
- 〈事務局〉 概ね２か月に１度のペースで協議を行ってきているが、本年９月の要望書提出を目指すということと、ここ何回かは協議が進まず「継続審議」となっていることから、議事要旨の確定作業や次の協議会準備作業を踏まえて約１か月半に１度のペースで協議を実施してきている。
- しかし、今回の協議では「中学校の統合の是非」や今後は「統合校の場所」といった、大変重要な協議事項を決定する局面になる。各団体代表の委員の皆様におかれては、一人でも多くの会員に声をかけ、団体内で協議をして意見を集約する作業が大切かと考える。そのためにも、事務局としては、各団体が話し合える時間を十分に確保していきたいと考える。このようなことから、統合校の開校時期の目標を再検討いただきたいと思うがいかがか。
- 〈鈴木委員〉 ９月のいつ頃までだったら、間に合うのか。
- 〈事務局〉 ９月上旬までに、統合の時期、統合の組み合わせ、統合の場所の３つが決定すれば、可能である。
- 〈大和久委員〉 そういうことまで決めなければならないのであれば、無理ではないか。
- 〈佐々木委員〉 統合案がどちらも決まらないのなら、やめた方がよい。
- 〈鈴木委員〉 第１１回協議会で、小学校の統合が必要であることが決まってから、先に進んでいない。平成２７年の統合は無理で、２８年度以降になるということか。
- 〈事務局〉 そのとおりである。
- 〈佐々木委員〉 中学校の統合を決めれば、進むのではないか。
- 〈多田委員〉 間に合わないだろう。
- 〈鈴木委員〉 世の中の状況は変化しており、教育委員会の働きかけがもう少しあってもよかったのではないか。協議会委員は、熱意はあるが素人である。簡単に２７年度には統合できないから、２８年度にお願いしたいというのはいかがか。
- 〈氏家会長〉 今後の協議を考えると、統合の組み合わせが決まっても、統合場所をどこにするのかについては時間がかかると思う。２７年４月の統合を目指してきたが、期限までに決めるのは微妙になってきた。
- 〈事務局〉 事務局としては、協議の進捗状況を考えると、２７年４月の統合は難しいと考える。今後は、統合シミュレーションのＡ案とＢ案についてのメリット・デメリットを整理した「協議の論点整理表」について、千城台地区の共通認識の資料として各団体で配

布していただき、協議していただきたい。

〈鈴木委員〉 次回は10月ということだが、小学校の統合協議だけではなく、B案については中学校の統合についても決めないと進まないのではないか。

〈菅原副会長〉 本日の協議を聞いていたが、ひと言、言わせていただく。十分議論する内容があるのであれば、方向を変えて28年4月の統合に向けて進めるべきである。市の財政的な方針等については、納得して議論していくしかないと考える。

〈多田委員〉 財政面を言われても、地域としては何とも言えない。

〈佐々木委員〉 むしろ財政の話まで、議論すべきである。

〈多田委員〉 次回協議会は、いつ頃と考えているのか。

〈事務局〉 概ね2か月に1度のペースで、「金曜日の夜に開催する」ということで実施してきた。各団体で協議内容を持ち帰り、報告をする期間も必要になることから、次回は10月中旬、具体的には10月18日（金）18：30～でいかがか。また、A案、B案ともにメリットとデメリットのある案であるため、次回協議会までに、各団体で「協議の論点整理表」を配布し、話し合ってきていただきたい。

〈一同〉 異議なし（了承）

### 議題（3）その他

〈山崎議長〉 協議（3）「その他」であるが、委員の方々から何かあるか。

〈一同〉 特になし

### **（4）連絡**

- ・ 次回協議会は10月18日（金）18：30～20：30、千城台公民館で開催する。
- ・ 本日の議事要旨（案）を作成し、委員の方々に郵送し確認していただく。期日までに回答がない場合は「修正なし」とさせていただく。また、委員の確認を経て修正・確定した議事要旨を教育委員会ホームページで公開する。（\*一同：異議なし）
- ・ 本日の協議内容について、各団体の方々にもお知らせいただきたい。また、参考資料（協議の論点整理表）が必要な場合はご連絡いただきたい。

### **（5）会長挨拶（氏家会長）**

本日も長時間にわたり真摯な協議に感謝する。各団体で、説明の要望があれば、ぜひ呼んでいただきたい。事務局も同様と考えるので、お願いしたい。